



45 回生は西高祭の歴史を大きく動かしてくれました。そして、どのクラスも最高の劇でした。後輩たちにカッコイ先輩の背中を見せることができたと思います。しかし、これまでの道りは簡単なものではなかったと思います。文化委員は誰がする問題から始まり、どんな舞台発表をするか、色々あるけど演劇はちょっと…。意見をまとめるってこんなに難しかったっけ！？それとも意見がまとまらないってことは団結力がなくてことなのか…？

集団として目標がなかなか定まらなかったことを一概に良くないことと捉えるのは NG です。なぜなら、定まらない原因として「色々な想い」があるからです。舞台発表を良いものにするために、それぞれが考えた答えに「これが正解だ」という決まった答えはありません。それぞれの答え（想い）をぶつけ合い、ひとつのものにしていくことは大変だったことでしょう。

今、総合探究の授業を通して、決まった答えのないものを深めていく作業をしています。西高祭のそれと似ていますね。舞台発表を良いものにするために考え行動したことは探究活動そのものですね。

改めて本当にどのクラスも最高の舞台発表でした☆西高祭を支えてくれた全ての人に感謝の気持ちを忘れず、これからの学校生活を良いものにしていきましょう！さて、次は期末考査に向けて頑張るぞ～!!

